

平成28年度第1回蕨市消防委員会議事録

■日 時 平成28年5月27日（金） 午後4時00分～午後5時15分

■場 所 蕨市消防本部 2階会議室

■出席者 (敬称略)

委 員 : 今井良助(委員長)、山崎徹(副委員長)、永井忠士、奥田清支、中村美枝、小林利規、みやした奈美

事務局 : 堤昭広(消防長)、原田昌彦(次長兼消防署長)、野崎好伴(総務課長)、鶴巢優子(予防課長)、石井政樹(副署長)、萬年祐次(総務課長補佐)、山崎高義(警防係長)、山田亮輔(庶務係副主任) 水野樹希(警防係課員)

■次 第

1 開会

2 委員長挨拶

3 消防長挨拶

4 審議事項

(1) 平成28年度主要事業の概要について

(2) 平成28年度消防委員参加予定行事について

(3) 消防委員会・消防団県外視察研修(湖西市)について

その他

■審議内容

(1)資料に基づき、平成28年度事業について説明

委 員 : 塚越分署は耐震補強工事と建て替えのどちらにするのかをどのように決定するのか。消防委員会の議題となるのか。

事務局 : 耐震診断の調査結果を踏まえ、市の建築課などとも相談してということになるが、消防委員会は消防に関する諮問機関なので、調査結果を報告し、意見を聞くこととなります。

委員長 : 救急救命士教育訓練負担金について、研修の日数と内容をお聞きしたい。

事務局 : 約7ヶ月間、基礎医学から解剖学など埼玉県内医療機関の医師の講義が中心ですが、口の中にチューブを入れる気管挿入などの実技も学びます。

委員長 : 分署は築何年目になるのか。

事務局 : 昭和50年竣工で、現在41年です。

- 委員長：分署については、しっかりとした建て替えが良いと思うが、なぜ耐震診断をするのか説明してください。
- 事務局：あくまで、建て替えるか補強するかを検討をするための基礎となる資料として診断を受けるといことです。
- 委員：東日本大震災から5年経過しての耐震診断は、今頃という気がするが、もっと早くできなかったのか。
- 事務局：昭和56年以前に建った市の施設を計画的に実施していて、学校、保育園、公民館と進み、現在分署を含む、図書館、児童館が今年度に対象となったものです。
- 委員：現状の分署建物は危険ではないのか。
- 事務局：東日本大震災のときに分署で被害は無かったので、すぐに危険という状況にはないと考えている。また、地震があった時には車を車庫から出すことを24時間徹底して実施しております。
- 委員：資料にある消防団員は98名で現在93名ということは、5名増える予定があるのか。
- 事務局：募集をして加入に結び付けたいと考えているところで、具体的な加入予定があるものではない。加入を見込んでいるので予算化したところです。

(2) 資料に基づき、消防委員参加予定行事について説明

- 委員：塚越分署の関連で12月28日の特別警戒の日に、1時間前に集まって臨時の消防委員会を開いていただくのはどうか。
- 事務局：診断等の結果がでましたら、委員長に相談させていただきます。

(3) 資料に基づき、消防委員会・消防団県外視察研修（湖西市）について説明

- 委員長：私から少し補足をいたします。実は湖西市視察は一昨年、計画したのですが、台風のため中止となりました。湖西市は東海地震の備えなど、防災については非常に様々な角度から研究、対応が進んでいます。消防委員会として視察の重要な点の第一点目は、協定を結んでいる市に行って、どのような市と協定を結んでいるのか、協定相手の状況を知ることです。第二点目は、湖西市の高い防災意識について直接見聞きさせていただいて勉強することです。非常に意味深い視察を計画していただいたので、消防委員会の皆さんには、特に用事がなければそろってご参加いただきたい。

その他について

- 委員長：最後に「その他」の方の中で、皆さんご質問等あれば、何でも結構ですので、

ご質問を受けたいと思います。

委員：戸田市では消防団と消防団の連絡として簡易のデジタル無線が配備されていて、蕨でも必要だと思うがどうか。優先順位もあり、すぐできるかどうかというのは別だと思うが、大事な任務を任されている消防団としての装備の方向性をお聞きしたい。

事務局：消防団の強化に関しましては、少しずつになってしまいますが計画的に実施しております。チェーンソーの貸与や、今年度からは新基準の活動服の貸与があります。今後も強化に関して考えてまいります。無線機に関しましては、強化の一環で、今は何年後に購入という具体的な予定はありませんが、優先順位を踏まえ、先々必要に応じて、貸与しなければいけない時期には貸与したいと考えております。

委員長：町会からのスタンドパイプの申込状況は把握しておりますか。

事務局：配布は安全安心課が担当しておりますので正確な数字はわかりませんが、多数の町会からの打診、申込みがあると伺っております。

委員：スタンドパイプとはどのようなものでしょうか。

事務局：スタンドパイプは、消火栓に直接設置できる資器材で、そこにホースを接続して放水ができる器具です。今年度、市の予算で10基程購入予定で、各自主防災会に配布する予定となっております。後程こちらに現物をお持ちしますので、実際にご覧ください。

委員：スタンドパイプは町会独自の判断で使えるのか。

事務局：怪我などの事故を防止するため、取り扱い説明を予定しております。実際にスタンドパイプを使用した訓練も計画しております。また、あくまでも大規模災害時に使用していただくということで、目的外に使わないように指導させていただきます。

会議終了後に実際にスタンドパイプを見て、使用方法等について意見を交わした。

以上